



Hondaは古くから先進的なブレーキ開発に着手。そのこだわりは1969年にバイクの量産車として初めてディスクブレーキを搭載したCB750FOURから現在も脈々と生き続けています。

## バイクに義務化されたABSって、何の略？

ABSは「Antilock Brake System」の略称で、ブレーキを強くかけた際のタイヤロックを防止し、車体の安定を保つための装置です。日本国内では、2021年10月からほぼすべての125cc超のバイクにABSの搭載が義務付けられました(※)。ABSが搭載されることで、滑りやすい路面でも、直進時においては転倒を恐れずに最適なブレーキを掛けられるので、より安全にバイクを楽しむことができるようになります。

ホンダはこれまで、多くの人が安心して、思いのままにブレーキ性能を引き出せるように、ブレーキ技術にこだわってきました。1969年には、量産車として初のディスクブレーキをDREAM CB750FOURに搭載。その後も1982年のGL1100にCBS(前後連動ブレーキ)を、1992年のST1100にABSを初搭載。現在では小型・大型、オフロードモデルなど、タイプ

### Hondaの多彩なABSラインアップ



#### オフロード向けABS

アフリカツインなどに搭載。オフロード走行などのシチュエーションに対応。



#### スーパースポーツ向けABS

CBR1000RR-Rなどに搭載。サーキット走行など、よりハードな走りに対応。



#### デュアルタイプABS

CB400SFなどに搭載。高速域からの安定性を高めるため、前後輪に作用。



#### シングルタイプABS

PCXなどに搭載。ロックが転倒につながりやすい前輪のみに作用。

に合わせたさまざまなABSをラインアップしています。

とはいえ、ABSはあくまでも運転支援装置であり、機能にも限界があります。システムを過信することなく安全運転でバイクライフを楽しみましょう。

※新型車は2018年10月以降に生産される125cc超のモデルが、継続生産車も2021年10月以降の生産分が対象。原付二種(50cc超～125cc以下)については、ABSもしくはCBS(コンバインドブレーキシステム=前後連動ブレーキ)のいずれかを装備。

①

#### デクセルセパレートチェストプロテクター(ベルトタイプ) 梅本まどか直筆サイン入り

ベルト使用することでウエアを添わずに装着できる、バイク用胸部プロテクター。裏面には梅本まどかさんの直筆サイン入りです。



※サインの色(金/銀)は選べません

②

#### トランスフォーマー マスターピースMP-54 リブースト

タカラトミーとのコラボによるオリジナルのトランスフォーマー。赤の「シティR」に変形。バイクのモトコンボと乗車可能なフィギュア、武器3種が付属。モトコンボはトランクへも収納可能としている。



### Think Safety 各5名様に 読者アンケート&プレゼント

下のQRコードにアクセスした上、アンケートにご回答ください。抽選で写真のHondaグッズをプレゼントいたします。みなさまのご応募をお待ちしています。

アンケート締め切り:  
2022年5月15日(日)

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。なお、ご応募はおひとり様につき1回限りとなります。

「Honda Safety Japan Action」が  
4月1日(金)～5月15日(日)に開催。



詳細はこちら

**HONDA**  
The Power of Dreams

Think Safety\_Vol.11

発行日/2022年3月31日

発行/本田技研工業株式会社 安全運転普及本部 発行人/鈴木英樹

※ 本誌掲載の写真・図版・記事などの無断使用・転載・複製を禁じます